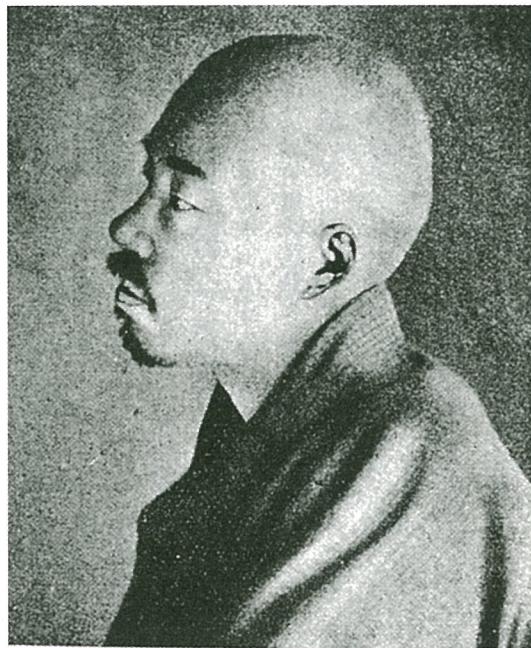


没後百十年を迎える正岡子規の研究書を集成。



子規研究 資料集成

全七巻 越後敬子 編・解説

クレス出版

刊行のことば

実践女子大学非常勤講師

越後敬子

明治三十五年九月十九日、正岡子規が三十六歳という若さでこの世を去ってから、早くも百年の歳月が過ぎようとしている。この間、子規に関する多くの著作が刊行され、多くの「子規好き」を生み出してきた。子規が人々に愛される所以は、なんと言ってもその明るさ、生への前向きな姿勢であろう。二十三歳で咯血し、三十歳で脊椎カリエスと診断された子規は、常に死を、遺された時間を意識せざるを得なかった。しかし、子規の文学はいつも明るく、自らに迫った死をもユーモラスに表現するのであった。

子規が没すると、新聞各紙では追悼文を掲載し、俳句・短歌・文芸雑誌では追悼号が編まれた。この年十一月、小谷保太郎がこれらの追悼文や子規遺稿をまとめて『子規言行録』（吉川弘文館）を刊行したのを皮切りに、子規に関する著作が相次いで出版された。子規全集だけでもアルス版（大正十三〜十五年）、改造社版（昭和四〜六年）、講談社版（同五十〜五十三年）と版を重ねている。人々の子規への厚い感心が然らしめたものだろう。

本集成では、子規没後から昭和三十年代までのおよそ六十年間に刊行された子規関連の回顧録・研究書・作品評釈書から、現在では入手の難しいと思われる十四点十五冊を選んで収めた。回顧録としては、大正四年の高浜虚子『子規居士と余』（日月社）が早く、次いで河東碧梧桐『子規を語る』（昭和九年、汎文社）、同じく碧梧桐『子規言行録』（昭和十一年、政教社）等が続く。子規と最も身近に接した二人の回顧録は貴重なものであるが、現在では文庫版として刊行され、比較的手が簡単であるため収めなかった。次に研究書の先駆けとなったのは、大正六年の木下春雄『俳人子規』である。アルス版子規全集もいまだ刊行されない時点での研究書の出版には目を見張るものがある。その後も多くの研究書の出版を見るが、復刻・再刊等されたものは割愛し、内容的にも重要と思われるものを選んだ。最後に作品評釈編を設けたが、子規句の作品研究は現在十分に行われていると言いがたい。ところが子規没後の早い時期に、門人らによって子規句の評釈書が刊行されている。今後の子規研究への布石としてこれらを収めることにした。

没後百年を迎え、ますます充実するであろう今後の正岡子規研究に、本書が少しでも貢献できればと願っている。

〈回顧録編1〉

俳諧風聞記 又聞記・露骨録 岡野知十著／白鳩社／明治35年
友人子規 柳原極堂著／前田書房／昭和18年

〈回顧録編2〉

随攷子規居士 寒川陽光著／一橋書房／昭和27年
正岡子規 岡 麓著／白玉書房／昭和38年

〈研究編1〉

俳人子規 木下春雄著／実業之日本社／大正6年
正岡子規 その和歌をめぐる 小泉夢三著／石狩書房／昭和23年

〈研究編2〉

正岡子規 藤川忠治著／山海堂出版部／昭和8年

〈研究編3〉

正岡子規研究（抄） 渡辺順三他編／楽浪書院／昭和8年
改訂 正岡子規研究 宮田戊子編／楽浪書院／昭和10年
正岡子規の新研究 宮田戊子著／叢文閣／昭和10年

〈作品評釈編1〉

春夏 子規俳句評釈 寒川鼠骨著／大学館／明治40年
秋冬 子規俳句評釈 寒川鼠骨著／大学館／明治40年
正岡子規 白田亜浪編述／俳句世界社／大正6年

〈作品評釈編2〉

子規句集講義 内藤鳴雪・高浜虚子等輪講／俳書堂／大正5年
子規名句評釈 青木月斗著／非凡閣／昭和10年

〈回顧録編2〉『随攷子規居士』

子規庵の庭

子規庵の庭は有名な「小園の記」によつて世に知られて居る。明治三十三年頃の寫眞が残つて居るが、その頃と現在とを較べると、幾分狭くもなり、樹種も多少の相違を來して居る。

「小園の記」に出てゐる植物は、松、萩、芒、桔梗、松葉牡丹、おしろい、雞頭、秋海棠、朝顔、の九種であるが、此の記に現はれないで、當時既に存してゐた植物は

薔薇、竹、菊、覆盆子、美人蕉、牡丹、撫子、一八、枇杷、椎、小松菜、げんげん、梅、山吹、つゝじ、糸瓜、忘草

の十七種を數へることが出来る。即ち

我庭の垣根に生ふる薔薇の芽の蕾ふくれて夏は來にけり（薔薇）

子規庵の庭

四一

〈研究編1〉『正岡子規』

三、子規の和歌及歌論のありかた

これまでで明らかになつたやうに、子規の作品及歌論、ひいては彼の文學は、自由主義的な見解から、次第に、傳統主義的な見解に移行するすがたを見せてゐる。もともと、彼は、俳句和歌は明治時代に盡きるべきもの、といふ考から出發してゐた。その理由は、我等の作る句や歌がどれだけ古人の範圍外に出てゐるかといふにある。（略）第二、歌發句共に永久のものに非ず、殊に發句は明治に盡くべきものとは小生の豫言なり（二十五年十二月 高濱清宛書翰）

僕は明治時代に俳諧の最後を見んといふ説も持せり、之を證せんとならば我等の作る句がどれだけ古人の範圍外に出たるかを思考すれば足れり（二十七年三月 阿東乗五郎宛書翰）

和歌についても、全く同様の見解を持つてゐたことは、子規の歌論の項で見て來たところである。すなはち、和歌も俳句も、一つの形式文學としてすこしも擴大されて

〈作品評釈編2〉『子規名句評釈』

蒟蒻につゝじの名あれ太山寺（明治廿五年作）

小蛸曰 太山寺は伊豫温泉郡和氣村の太山寺山にある所の四國靈場五十二番の札所であつて現在の堂宇は千三百餘年の星霜を経てゐる古刹である。

其門前茶屋に賣つてゐる蒟蒻料理は一名物となつてゐるが、晚春山内の躑躅も多くて美しい、そこで蒟蒻と共につゝじも又名あれかしといつたのである。この句は明治二十五年の春、居士が松山名所七十餘句をつくられた時その三月の分の數句の中の一句であつてかの句碑となつて居る「出合、若鮎の二手になりてのばりけり」などの句と共に故郷をしのばれての作である。

月斗曰 佳い句だ。僕は太山寺は知らぬが、しのばしい句である。調子も大年な味がある。

松山堀端

門しめに出て聞て居る蛙かな（明治廿五年作）

月村曰 故郷の情思を歌はれたものです。門しめに出てがこの句のよい處です。春夜の臈も十

子規居士と讀書

河東碧梧桐

もう幾日も筆をあてないであらう、と思はれるほど、机のまはりに、洋書と和書と交ぜ、積んでもあり、とり散らされてゐた居士の居室の様は、今でも彷彿と想ひ浮べることが出来る。明治二十四年、本郷眞砂町の常磐會寄宿舎の一室なのである。居士は大學に通つて、時に四角な帽子を被り、金釧の洋服も著てゐたが、大方兵児帯をだらしなく腰に巻きつけた和服姿で居た頃である。

其のとり散らされた洋書と和書の亂雑とも見える状態は、後に「癩祭書屋」の別號を生む因ともなつたのであるが、其の一々の本を點檢しなくとも、居士の書籍に親しんでゐる気分が、初めて其の室を見た私にも直感された。

「ホ、ー、やつぱり勉強してやいでるのぢやな」と一寸胸を打たれた思ひを忘れることが出来な

子規研究資料集成 全七巻

越後 敬子 編・解説

〈回顧録編 1〉

俳諧風聞記 (岡野知十著)、友人子規 (柳原極堂著)

定価13,000円(税別) ISBN978-4-87733-629-5

〈回顧録編 2〉

随攷子規居士 (寒川陽光著)、正岡子規 (岡麓著)

定価13,000円(税別) ISBN978-4-87733-630-1

〈研究編 1〉

俳人子規 (木下春雄著)、正岡子規 (小泉琴三著)

定価11,000円(税別) ISBN978-4-87733-631-8

〈研究編 2〉

正岡子規 (藤川忠治著)

定価13,000円(税別) ISBN978-4-87733-632-5

〈研究編 3〉

正岡子規研究 (渡辺順三ほか・宮田戊子編)、正岡子規の新研究 (宮田戊子著)

定価17,000円(税別) ISBN978-4-87733-633-2

〈作品評釈編 1〉

春夏秋冬 子規俳句評釈 (寒川鼠骨著)、正岡子規 (臼田亜浪編述)

定価13,000円(税別) ISBN978-4-87733-634-9

〈作品評釈編 2〉

子規句集講義 (内藤鳴雪・高浜虚子等輪講)、子規名句評釈 (青木月斗著)

定価15,000円(税別) ISBN978-4-87733-635-6

A5判/上製クロス装 平成24年2月末日刊行

揃定価95,000円(税別) ISBN978-4-87733-636-3(セット) C3392

芭蕉研究資料集成 昭和中期篇 全8巻 佐藤 勝明 編・解説

〈総記・伝記〉 1. 芭蕉の風土、俳句批判(抄) 2. 芭蕉と初心、芭蕉論考 3. 芭蕉雑纂、芭蕉研究(抄) 4. 芭蕉と寿貞尼、芭蕉伝記考 5. 註解 芭蕉書簡集

〈作品研究〉 1. 芭蕉俳文集、奥の細道創見 2. 全釈奥の細道、「おくのほそ道」とその周辺 3. 芭蕉俳句の解釈と鑑賞、芭蕉七部集連句評釈 冬の日、春の日

揃定価95,000円(税別) ISBN978-4-87733-496-3(セット)

芭蕉研究資料集成 昭和前期篇 全19巻 久富哲雄 監修・解説

〈伝記・総記〉 1. 俳人芭蕉傳 2. 芭蕉全傳 3. 芭蕉の全貌 4. 芭蕉の傳記の研究、はせを 5. 俳人芭蕉の研究、奥の細道・芭蕉・蕪村 6. 俳聖芭蕉、芭蕉展望 7. 芭蕉翁雑考

〈俳論〉 1. 去來抄新講 上 2. 芭蕉と俳諧の精神、俳諧の國

〈作品研究〉 1. 七部集猿蓑評釋 2. 猿蓑俳句鑑賞、芭蕉名句評釋 3. 芭蕉七部集俳句鑑賞 4. 芭蕉句集新講 上 5. 芭蕉句集新講 下 6. 芭蕉紀行全集、奥の細道詳解 7. 奥の細道評釋 8. 『奥の細道』綜合研究 9. 奥の細道古註ほか 10. おくのほそ道の基礎研究

揃定価275,000円(税別) ISBN4-87733-009-70.10-0

芭蕉研究論稿集成 明治・大正・昭和前期篇 全5巻 久富哲雄 監修

第一巻 芭蕉特輯雑誌集 大正7年～昭和15年 第四巻 主題別論稿集(1)

第二巻 芭蕉特輯雑誌集 昭和16年～昭和20年 第五巻 主題別論稿集(2)

第三巻 芭蕉特輯雑誌集 昭和21年～昭和32年

揃定価80,000円(税別) ISBN4-87733-077-1(セット)

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メロナー日本橋

☎03-3808-1821 ☎03-3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>



株式会社クレス出版

●書店名